

会議の概要

令和7年度 第1回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
- 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
- 大玉中学校学校運営協議会 ○ 大玉村地域学校協働本部第1回地域教育協議会

日 時：令和7年5月9日（金）18:30～20:30

場 所：全体協議：1階多目的ホール

グループ協議：幼稚園：1階多目的ホール、大山小：2階農事相談室

玉井小：2階農事研修室、大玉中：1階健康相談室

進行…事務局（指導主事 星 雅人）

1 開会の言葉（進行 指導主事 星）

皆さん、こんにちは。これより令和7年度第1回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）兼大玉村地域学校協働本部第1回地域教育協議会を始めます。よろしくお願いします。

2 委員の任命・委嘱状の交付

（大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

- | | |
|------------------------|---------|
| ・CS委員の代表受領 | 矢吹 吉信 氏 |
| ・学校関係者委嘱状代表受領 | 矢吹 吉信 氏 |
| ・地域学校協働本部地域教育協議会委員代表受領 | 矢吹 吉信 氏 |

3 教育長あいさつ

（大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

皆さん、こんばんは。本日はお疲れのところ令和7年度第1回おおたま学園CS委員会並びに地域教育協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。また、新たにメンバーとなられた7名の方々を含めて、令和7年度の委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

さて、このCS委員会は、地方行政の組織及び運営に関する法律第47条の5の規定に基づき、「学校運営の基本方針を承認すること」、「学校運営に対する意見を述べるができること」、「任用に関する意見を述べるができること」の3つの権限をもった合議体ということになります。

幼稚園や学校運営のパートナーとして、そして、応援団としてお力をお貸しいただきたいと思います。法的なことを言ってしまうとちょっと堅苦しく聞こえてしまうかもしれませんが、委員の皆様のそれぞれお立場やこれまでの経験を生かしていただきながら、幼稚園・学校教育、地域に関する思いや夢を語り合い、さらには雑談も含めた中で、何かしら改善・発展のためのヒントを見つけて、共に力を合わせて幼稚園や学校を捉え盛り上げていただきたい、そういう役目であるご理解いただければありがたいと思っております。子どもたち、そして地域のために皆様のお力をいただきますようよろしくお願いいたします。



4 自己紹介

～ 略 ～ （新任のＣＳ委員の自己紹介のみ）

5 役員改選

（進行）要項 8 ページから 11 ページの「大玉村公立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第 8 条にありますように、会長 1 名、副会長 3 名ということでこれから選出いただきたいと思います。自薦、他薦ありましたらお願いします。

（ＣＳ委員）・・・（特にない様子）・・・

（進行）特にないようですので、事務局案を提案させていただいてよろしいでしょうか。

それでは申し上げます。会長 矢吹吉信様、副会長 吉田都様、館下愛理様、浅和博栄様、再任という形になりますが提案させていただきます。

（ＣＳ委員）・・・（同意）・・・

（進行）事務局案の通り決定しました。よろしくお願いいたします。

5 ＣＳ委員会新役員あいさつ

（矢吹会長）只今再任されました会長の矢吹です。この間、初めて新しいＣＳ委員の方々と顔合わせの会をさせていただきました。新しいＣＳ委員さんも、今日は 2 回目の出席ということで、（会議に）入りやすかったようでよかったなと思っています。

子どもたちの応援団ということで、ＣＳ委員の皆さんと一緒に、ご理解とご協力をいただきながら（活動を）盛り上げてやっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

（浅和副会長）改めましてこんばんは。

私も前回に引き続きということで、微力ながら子どもたちの健やかな成長、そして、大玉村の教育がいい方向に向かうよう尽力していきたいと思っています。みなさんのご協力によって、そして、みなさんの思いや気持ちを言葉にしてもらって運営ができるといいと思います。ぜひみなさんと盛り上げていければと思いますので、よろしくお願いいたします。



（吉田副会長）こんばんは。再任ということでお世話になります吉田です。初心を忘れず、子どもと共に、地域と共に、先生と共に携わらせていただくことに感謝しながら頑張っていきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

（館下副会長）みなさん、こんばんは。再任いただきました館下です。私は子どもが 2 人おり、どちらも中学校を卒業してしまって高校生と大学生になるのですが、自分が生まれ育った大玉村の子どもたちと少しでも関わることができたらいいなという思いで務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

6 本日の日程、内容、進め方及び諸連絡について

（指導主事 星）

- 本日の日程について
- 申し合わせ事項について
- この後の熟議で学校評価委員長を決める。
- ＣＳ委員の報償について

7 協議 （座長 ＣＳ副会長 浅和 博栄）

（座長）それでは、暫時座長ということで進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

資料 3 ページをお開きいただきたいと思います。“（1）令和 7 年度おおたま学園ＣＳ委員会の方針・年間活動計画について”事務局よりお願いします。

(1) 令和7年度おおたま学園CS委員会の方針・年間活動計画について

＜資料に基づき説明＞

(指導主事 星)

① 理念についての再確認

- ・CSとは… 地域・家庭・学校の架け橋となるもの
- ・学校運営協議会の権限

② 令和7年度の重点について

※ 修正点のみ記載 ～他は省略～

- オープンスクール（おおたま学園主催の授業研究会）に、CS委員の皆様も参加し、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。熟議においては可能な限り子ども達や保護者、教職員の意見を取り入れ、子ども理解・学校理解・家庭理解のより一層の深まりとともに、子ども、学校、家庭、地域の協議の活性化をを目指す。
- 学校が主体となって企画するおおたまふれあいフェスタの運営に参画し、ねらいの達成に寄与するとともに、子どもたちの意見を取り入れた活動を検討する。
- 第7回おおたまコミュニティ広場（第17回大玉村教育フォーラム）は、保護者、村民の方々が年に1回集い、大玉村の子どもたちの身近な課題について語り合う場として実施する。その際、保護者、村民ができるだけ多く参加できるように、呼びかけ・周知を図る。・・・

③ 令和7年度おおたま学園CS委員会活動計画について説明（詳細は略）

- おおたまふれあいフェスタ「スポーツ交流イベント（幼）」を5月23日（金）に開催する。
- 第3回CS委員会を8月28日（火）に開催し、おおたまふれあいフェスタの実施計画について協議する。（教職員・CS委員・関係団体との合同会議）
- 昨年度同様おおたまふれあいフェスタ（小・中）を9～10月の平日に分散開催する。
 - ・9/26（金）大名倉山登山、安達太良山登山
 - ・10/1（水）昔遊び・グラウンドゴルフ、オリエンテーリング、ミニ運動会
- 6、9、11月実施の各校・園主体の学校運営協議会は、オープンスクール（5校時の授業参観）と一緒にやる。そのため、午後から夕方にかけて開催する。（授業参観 ― 事後研究会 ― 学校運営協議会の午後半日の予定）

（座 長）ありがとうございました。確認したいことや聞いてみたいことがありましたらお願いします。

（八巻委員）ふれあいフェスタについてですが、天候が不順な場合延期になるのでしょうか。それとも中止でしょうか。

（星）13ページから15ページにかけてふれあいフェスタの内容が記載されています。

- ・9/26（金）大名倉山登山、安達太良山登山 → 10/3（金）に延期
- ・10/1（水）昔遊び・グラウンドゴルフ、ミニ運動会＜屋内で実施＞
オリエンテーリング → 10/2（木）に延期

（座 長）それでは次に移ります。地域学校協働本部事務局より説明をお願いします。

(2) 令和7年度地域学校協働活動事業計画（案）について （地域学校協働本部事務局）

＜資料に基づき説明＞

- ① 地域学校協働活動の目的
- ② 地域学校協働活動事業実践の方向性
- ③ 組織（CS委員が地域教育協議会委員を兼ねる）
- ④ 地域との協働活動事業内容

ア 連携・協働活動Ⅰ…学校園の教育課程のもの

- ・学校支援ボランティアの基本理念「できる人が、できるときに、できることを 自らの意思で行う」（安定的・継続的な支援の実現のため）
- ・事前の打合わせは短時間でもいいので持つこと
- ・今年度の登録者は98名
- ・今後もPR活動を続けボランティアを増やしたい。

・地域行事への参画 ・公民館事業等との連携活動

- ・安全に充実した活動できるようにする → 各教室毎に実施（一班を35名までとするため、大山教室は1班、玉井教室は2班編成で行う）

・中3生未来塾…16回実施（長期休業中+2学期の土曜日）

才 家庭教育支援活動

・おゆずり会 ・子育て応援通信『たまちゃんネル』の発行 ・親子ふれあい遊び

力 研究・広報活動

・『地域学校協働本部だより』は3回以上発行。村内各施設（学校、幼稚園、公民館、改善センター等）にカラー版を掲示していただく。 他

(CS 委員) . . . 特にない様子 . . .

(星指導主事) 場所は記載されている通りです。時間についてですが、１９時５５分から報告会ということで進めていきたいと思います。休憩をお取りいただいて、１９時２５分頃から話し合いを進めていただきたいと思います。校長先生、副園長先生を中心にお進めください。

～ 移 動 ～

① 各園・各校から（今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他）

幼稚園：1階多目的ホール

大山小：2階農事相談室

大玉中：1階健康相談室





(4) 各園・各校からの報告

(座 長) 現在 20 時ということで時間が若干オーバーしたところです。その分みなさん方はいろいろとコミュニケーションを図れたのではないかと思います。さっそくですが、先程まで話をしていた内容についてご報告をいただきたいと思います。大山幼稚園からお願いします。

① 大山幼稚園・玉井幼稚園 (副園長 二瓶 博子、後藤 弥和子)

(二瓶副園長) 大山幼稚園は玉井幼稚園と一緒に話し合いをしました。今日は新しい委員の方々もいらっしゃいましたので、まずはフェスタについて細かく打合せをしました。ちなみに、評価委員長は、玉井幼稚園が平さん、大山幼稚園が佐藤さんにお願いすることになりました。

フェスタについては、実施案を見ながら係分担と流れの確認を行いました。幼稚園担当の CS 委員さんも協力してくださることになりましたのでよろしくお願いします。事務局の方々にも当日お世話になりますのでよろしくお願いします。

10月16日(木)に幼教研県北ブロックの公開保育があり、玉井幼稚園と大山幼稚園が会場園となりたくさんの県北の先生方がおいでになるのですが、その際の駐車場係、受付係についてもお世話になりたいという話をしました。近くになりましたらご案内をお送りしたいと思いますので、よろしくお願いします。

今日は、フェスタの話がほとんどで、運営ビジョンについては短時間の話し合いになってしまいました。そちらについては、玉井幼稚園の後藤先生からお話いただきます。

(後藤副園長) 両幼稚園では、学びを支える環境構成を今年度重視していこうということで頑張っているところです。そこで、子どもたちが自由に工夫して使える環境にはどんなものがあるのかについてある幼稚園に研修に伺ったのですが、そこでおもしろい使い方に気づきました。ビールケースが園庭に置いてあっただけなのですが、子どもたちは、ままごとのテーブルにしたり、その上にもってダンスや歌を発表するステージにしたりといろんな使い方を考えて遊んでいました。

幼稚園にも何個かあるのですが、もう少し数が多いと、子どもたちがもっと自由に考えながら遊べるのではないかと考えています。もし、CS 委員さんの家にビールケースがございましたら、幼稚園にいただければ嬉しいという話をさせていただきました。また、幼稚園担当の CS 委員さんだけでなく、みなさんの所にもそういうものがございましたら、また、お知り合いの方で寄付してくださる方をご存知でしたら紹介していただけるとありがたいです。その他にも、「こんなものがあったら子どもたちが面白い遊びができるのではないか」等ありましたら、ぜひ教えていただきたいと思います。そういうものを揃えて環境の見直しをしていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いします。

(二瓶副園長) あともう一つなのですが、ビールケースの他にもフォークリフトのパネルのようなものもステージになっていいという意見も出ました。ホームセンターに行くと、小さいもので 3 千いくら、大ものになると 7 千円位で売っているのですが、何分にも予算がないのでいただけたところがないかと話していました。もし情報があればよろしくお願いいたします。

② 大山小学校 （校長 澤藤 晃治）

以下の３点について話し合いを行いました。

- 運営ビジョンについて説明させていただきました。道徳教育の重視、新しい時代の授業づくりを頑張るとか、教科担任制、遠い未来になりますが、学年担任制とかの話をさせていただきました。
- 村から働き方改革についてプリントを配っていただいたので、その点について少しお話をさせていただきました。本の内容とか、朝の開錠時間とか、朝の留守番電話とか等について、子どもたちのためのよりよい学校のあり方、校長としての夢を聞いていただきました。
- 学校評価委員長は、スポーツ少年団推薦の菊地暢一先生にお願いすることが決まりましたので報告いたします。

③ 玉井小学校 （校長 五十嵐 洋之）

- 評価委員長は今年度も継続して後藤吉美さんをお願いしたいと考えています。本日欠席ですので、後日電話で確認させていただきます。
- 運営ビジョンについて
知・徳・体について今年度の重点を説明しました。日課表の見直し、一斉に体を動かす時間の設定等今年度も継続して取り組んでほしいとのお話を伺いました。

○ 働き方改革について

学校の取組を何点か紹介させていただきました。その中で、PTA組織の見直しを図りたいということ話をしたところ、地域の実態に合ったものを作っていくことが大事であること、親は全て学校のため、子どもたちのためという思いをもっている、その思いをうまく活動に繋げていけるようにしていくことが大事なのではないかというお話をいただきました。



その一つとして、保護者による学校サポーター制度を視野に入れていくことも必要であること。保護者の方々は、〇〇長とかいう役割をつくと足踏みするところがあるので、みんなと同じような活動を進めていく必要性についても話がありました。

○ CS委員会と地域学校協働本部事業について

今回学校支援ボランティア派遣計画調書が示されましたが、こういったものを保護者にも広く周知することによって、「私もこれができる」とか、「こんなことができる」とかのアイディアも広がっていくのではないかと、こういった活動をもっともっと家庭に周知していけばいいのではないかと意見も出されました。

④ 大玉中学校 （校長 久保寺 徹）

- 評価委員長は浅和博栄さんの再任ということでお願いしました。
- 本校の重点事項ということで、経営・運営ビジョンを中心に２点について説明させていただきました
- 「自主自律の実践」について

２，３年生に向けては１学期の始業式に、１年生については入学式の後の学年集会の際に説明しました。

子どもたちには、指示を待っているのではなく、自分たちで考えて動きだそうということだったり、「自律は自分を律すること」であるので「判断力を養っていくこと」をテーマとして提示しました。

先生方には、教師が一生懸命準備してお膳立てをして子どもたちに提示して進めると、活動自体はスムーズにいくが、子どもたちにとってはやらされ感が強くなり、生徒自身が自分た

ちで考えて行動していないというところが見られることを話しました。今年度は、そこを反省点として、子どもたちに考えさせ、計画させ、自分たちの手でやらせてみることを大事にしていきたいと考えています。(＝子どもたちの手で作る大玉中学校の実現)

もちろん、失敗はするとは思いますが、「それで良し」としながら前に進み、たくましい子どもたちに育てていくということで、先生方に年度始めにお願いしました。

○ 部活動の地域移行について

現在本校では部活動指導員を3名（バスケットボール部2名、バレーボール部1名）配置しています。ただ、地域移行とは違って、あくまでも学校の部活動を地域の方々の手を借りて、教員と同じ権限を与えてやっていただいています。部活指導員がつくと、例えば、教員がいなくとも単独での引率、監督が可能になります。(外部コーチの場合は不可) その辺が教員の働き方改革と繋がると考えています。

また、部活動指導員はついていないのですけれども、地域移行を見据えて、スポーツ少年団等地域との関わりということで現在行っているのが野球部です。ジュニアタイガース中部という名称でスポ少登録をしています。

今年度から剣道部に専門の先生がいなくなってしまったので、大玉村剣友会の指導者の方にボランティアという形でお願いしています。

種目によって地域移行ができるかどうか状況が違うので、「4月から一斉に地域移行します!」というわけにはいきません。種目毎、部活毎に地域の状況と合わせながら、少しずつ移行していくようにしたいと思っています。ただし、課題もあります。それは、指導者の報酬をどこからどんなふうに出すのかということです。せっかく地域の方にやっていただくのですから、報酬を発生させるべきだろうと考えます。

○ 働き方改革について

削ろうと思って削れるところはなかなかないので、考え方を变えて、やり方を見直したり効率化を求めたりすることによって、負担感や実質的な負担を減らすということで、今あの手この手でやっております。教員サイドのことであまり見えにくいことではあるのですが、努力している最中です。

(5) 全体共有

(座 長) ありがとうございます。各園、各校から話し合われたことの報告がありました。みなさんから確認したいこと、共通理解を図りたいこと等ございましたら、ぜひご意見をお話いただければと思います。

(八巻委員) 玉井幼稚園に質問ですが、先程のビールケース、パレット等何個くらい必要なのでしょう。

(後藤副園長) 両幼稚園で相談し、後日お伝えしたいと思います。

(八巻委員) わかりました。

(吉田副会長) 玉井小の校長先生もおっしゃっていたのですが、ボランティアの計画書は今まででていましたか。結果は報告書としてあがっていたのですが…。今年初めてでしょうか。

(佐藤CSディレクター) 去年もあげていました。

(吉田副会長) 学校支援ボランティアの“ライン”で日時等お知らせが来るのですが、日程が決まっているものについては早めに(案内を)流せるのではないかと思います…。保護者も〇〇委員のような役割はいやな場合がありますが、「空いている時に学校の手伝いには行ってみたい」、「見てみたい」とか、また、変則勤務で平日に休みをとれる保護者の方もいらっしゃるの、そんな方たちのきっかけになればいいなと思います。お便り等保護者が目につきやすいようにすると、もっと積極的に関わってもらえるのかなという期待もあります。

(佐藤CSディレクター) ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。

(座 長) 全体を通してでも結構ですので何かございませんか。

(CS委員) ～ 意見等がない様子～

(座 長) 今回初めてということもあってなかなか難しかったと思いますが、いつもこのような感じで話し合っています。今後も実りの多い協議となるよう進めていきたいと思っています。次回に向けて準備方よろしくをお願いします。

(教 育 長) 学校支援ボランティアについて学校それぞれのボランティアという話が出ていましたが、以前から自分のお子さんのいる学校や幼稚園のボランティアだけに参加するという形で登録できるようになっています。学校や園だよりにそういったことについてふれていただき、例えば、「〇〇小(幼)だけのボランティアでも大丈夫」であることを伝えていただきたいと思います。はたらきかけをお願いします。

(座 長) ありがとうございました。ボランティアの方々の活躍だったり、助かっているという振り返りもありましたので、ぜひよろしくお願ひしたいと思っています。それではこれで協議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

9 連絡事項

(指導主事 星)

(1) おおたまふれあいフェスタについて

- ・ 現在組織作り中 … C S 委員についても組織の所属希望書を提出いただきたい。
(後日の提出、電話でも構わない)
- ・ 各活動の担当校について

(2) その他

特にない

10 閉会の言葉

(C S 委員会副会長 吉田 都)

お疲れ様でした。本日は今年度最初の会でしたが、今年1年間大変お世話になりますがよろしくお願ひいたします。以上をもちまして令和7年度第1回おおたま学園C S 委員会を終わります。ありがとうございました。

